4/29(土) まいど！倫理です。昔4/29と云えば天皇誕生日の祭日でした、今では昭和日
大型連休のスタートには変わりません。私しの好きな言葉「誠心誠意」です。
嘘偽りありません…です、今でも同じです。
幸せ運ぶ ポポー鳥

今週の倫理

4月のテーマ ｜ 誠心誠意やる

2023. 4. 29～5. 5

1331号

言葉や行動に表われる誠意

「心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる」という言葉があります。

出典は諸説ありますが、もともとは米国の心理学者で哲学者のウィリアム・ジェイムズの言葉が由来とされています。

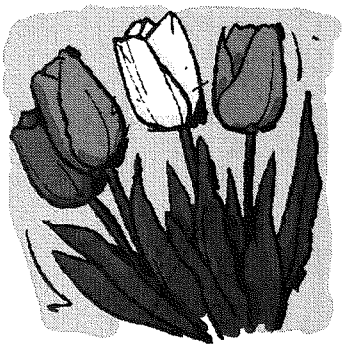
この言葉に示されているように、行動には心が表われているものです。顔も合わせたくない人への挨拶は自然とぎこちないものになりがちですし、仕事へのヒントを持ち帰りたいと強く思っている人は、講演会の会場などで前方に座る人が多いようです。

行動の中には言葉も含まれます。どのような言葉をかけているかは相手に対する心が表われています。それは、職場の同僚への言葉の使い方にも表われるものです。

Kさんは居酒屋を営んでいます。数人のアルバイトを雇っていました。悩みはアルバイト同士の仲が悪いことで、時には厨房で怒鳴り合うこともあったのです。

倫理法人会に入会し、経営者モーニングセミナーに通っていると、ある講師の話にハッとしました。それは、社員を我が物のように扱っていたことを反省し、一人ひとり名前に「さん」を付けて呼ぶようにしたところ、会社の雰囲気が良くなり、業績が上がったという話でした。

Kさんは良かれと思い、アルバイトを呼び捨てにしていました。学生が多く、友達感覚のほうが彼らも馴染みやすいだろうと思っていたからです。しかし、呼び捨てでコミュニケーションを取る中で、いつの間にか彼らを子供扱いしていたことに気が付いたのです。



それ以来Kさんは、名前に「さん」を付けて呼ぶようにしました。始めは違和感があったものの、自然と丁寧な言葉を選ぶようになり、また一人ひとりを大切に思うようになっていきました。

気が付けば、アルバイトの定着率が上がり、アルバイト同士も「さん」をつけて呼び合うようになりました。以前とは見違えるほど仲が良くなって、和やかな雰囲気の職場に変わっていったのです。

『万人幸福の栞』第八条「明朗愛和」には次の一節があります。「愛和は本と末、原因と結果の関係が愛によって和を得た相（すがた）、和のもとは愛である。そしてこの愛和は、すべての幸福のもとである」

相手へのまごころ（誠意）の発動が愛として親和力を発揮し、和をもたらします。

Kさんはアルバイトを「我が物」のように接していました。それは、一人の尊重すべき存在として向き合う心ではありませんでした。一人ひとり大切な存在として「さん」を付けて呼べるようになった時、Kさんとアルバイトとの間に和が生まれ、その輪が広がり、愛和の職場が生まれたのです。

心を変えられないと感じた時は、まず行動を変えてみることが大切です。行動を変えることでそれに相応しい心が養われていきます。まずは相手への呼び方から変えてみてはいかがでしょうか。

え・城谷俊也

一般社団法人倫理研究所法人局